

## ライブ中継では味わえない感動 カレッジ防衛モニター 関 宏康

自衛隊音楽まつりは、ネットでのライブ中継は何度か見たが、実際に武道館で観るのは初めてだった。また、アメリカやオーストラリア、フィリピンと各国の特色ある演奏にさらに歌も加わる音楽隊もあり、どの音楽隊も魅せる演奏や華麗な隊列変化など、目に焼きつき、楽しい演目の数々を見せてくれたとても貴重な機会だと感じた。

中でも60周年の記念の年である航空自衛隊航空中央音楽隊の演奏は、カラーガードが華やかな彩りを添え、最後にはブルーインパルスが会場を駆ける演出に度肝を抜かれた。

第三章の演目は、陸海空自衛隊。会場の床に映し出される映像と組み合わせ合わせた素晴らしい趣向の数々に魅了されるばかりであった。一番は、陸、海、空それぞれの代表となる兵器をモチーフとした隊列行進。素晴らしい、の一言であった。

自衛隊太鼓は、それぞれの部隊太鼓が終結し、腹にズンとくる振動と演奏者の迫力は凄まじく、会場ではなくては絶対に体感できない。

自衛隊音楽まつりは、自衛隊の音楽隊をライブ中継ではなく、是非とも行って体感して感動するイベントだと思った。

## 「高崎だるま」に祈りを込める



目入れを待つ「高崎だるま」

神奈川地方協力本部相模原地域事務所（所長 大塚3陸尉）は、群馬地方協力本部から「高崎だるま」を受領した。

「高崎だるま」の歴史は、200年以上前に遡り、鶴と亀が顔に表現され、年間90万個が出荷されている。受領した「高崎だるま」は、縦8センチ横4センチと小柄だが、来年1月9日の「だるま目入れ式」では、所員の無病息災や目標達成の祈りを込める予定である。

相模原地域事務所は、「今後も、七転び八起き、目標達成に向け邁進していく」としている。

## 受験希望者、音楽まつりに感動 入隊意欲強まる

神奈川地方協力本部横浜中央募集案内所（所長 竹崎1陸尉）は、平成27年度の受験希望者と、その保護者を自衛隊音楽まつりに招待した。

後日、保護者が募集案内所を訪れ、「この度は本当にありがとうございました。うちの子は、もの凄く喜んで公演を見学した後、非常に感動しておりました。自衛官になるために今まで以上に強い意欲を見せています」という、感謝の言葉を述べられた。

横浜中央募集案内所は、「今後も、音楽まつりなどイベントを有効に活用して自衛隊の魅力を伝え、募集成果につなげていきたい」としている。